

株式会社ピーシー・ブレイン お問い合わせ電話番号:047-311-6677

## ☆今月のメニュー

### ■SEOトピック

発動相次ぐ手動対策

### ■成功するリニューアルのポイント

- ・リニューアルを意識するタイミング
- ・リニューアルで改善できること
- ・リニューアル成功のための7つのポイント

### リニューアルでのCMS導入

SEO対策として、あるいは他社と優位性を出すために情報提供の頻度をアップすることは有効です。

この更新作業はできれば毎回制作会社などに外注するのではなく、自分たちで行いやすいね。

こう考えた時に気になるのは更新がどれくらい簡単にできるかではないでしょうか。この点はCMSを利用するのが圧倒的に便利です。CMSはサイト全体や特定カテゴリ配下全体のリニューアルに導入されることが多いのですが、**実は既存のページ部に利用することもできます。**

こうすることで、ニュース性のある情報の更新だけを手軽にタイムリーに更新することができますようになります。

気になる方はぜひ一度ご相談ください。

こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。

大雪だった関東よりも暖かそうなソチでのオリンピックは10代の選手が躍動した大会でしたね。このまま世代交代が進むのかと思いきや、葛西選手がんばりましたね。勇気づけられたお父さんは少なくないのではないでしょうか。さて、ホームページの活用方法を中心とした「WEBマーケティングのヒント」というタイトルで、今月も情報をお届けいたします。

## SEOトピック ~ 発動相次ぐ手動対策

このところGoogleによる大きなアルゴリズム変更は発表されていませんが、ペナルティについての情報は次から次にアナウンスされています。

Googleの公式ブログ「Webmaster Central」では、「Affiliate programs and added value」として質の低いアフィリエイトサイトに対する警告を先月発しています。警告というのは実際には、手動対策=ペナルティを与えるということの意味している訳ですが、警告以降に、まとめサイトと呼ばれるページ（例えば「NAVERまとめ」を使って構成されたようなページ）が検索結果から減ってきているという情報もあります。

もっとも今回ペナルティを受けたとされているサイトは、Googleが以前から打ち出している「質の低いページ」として「品質ガイドライン」で取り上げられているようなサイトと同様の構成だったりするので、通常の方法で作られたホームページ自体に影響がある訳ではありません。

そうはいつても、SEO対策として被リンク獲得のためのサイトとして、質の低いサイトを大量に立ち上げている業者もいますので、そのようなページからのリンクを得るようなサービスを利用しているサイトについては影響を受けることになるでしょう。

もし、ペナルティを受けたしまったときにはウェブマスター宛に右図のようなメールが届くので分かります。

(※Googleのウェブマスターツールを使っている場合)

こうなってしまうとリンクの削除から対応しなければなりません。



## 成功するリニューアルのポイント

ホームページを作ってから時間も経って他社と比べて見劣りするようになってきた・・・  
最近ホームページの問合せが減ってきたような気がする・・・

いまの時代、ゼロからホームページを立ち上げるよりも既存のホームページをリニューアルするケースの方が圧倒的に多くなっています。

今回はそんなリニューアルを成功に導くためのヒント・ポイントについて解説してゆきます。  
なお、ここで取り上げる「リニューアル」という言葉は、全面的に作り替える大がかりなものから、一部のみ部分的な変更までを含む広義のリニューアルとして説明しています。

### ■リニューアルを意識するタイミング

一度作ったホームページの手直しを意識するのはこういったタイミングが多いのでしょうか。  
冒頭にも書いたように、

- ホームページを開設した当初に比べて問合せや反応が減ったような気がすると思ったとき、
- 他社のホームページを見たらとても洗練されていて自社のものが陳腐化しているように感じたとき、
- あるいは、全体的に売上が伸び悩む・減少してきていてその原因の一つとして挙げられている、  
といった様な状況が多いのではないのでしょうか。

現在ではインターネット利用者のほとんどが検索エンジンを利用して情報を探しています。その結果、他社や競合と常に比較されるようになっていきます。こういった状況では、一度作ったものをその当時のままずっと使い続けるというのではどうしても結果が出にくくなってしまいます。

### ■リニューアルで改善できること

そこで状況を改善するための一つの方法として「リニューアル」という対策が出てきます。  
他にも「広告」「SEO」といったような方法もありますが、リニューアルによって改善できることの方が多  
いのです。

例えば、**直帰率**。

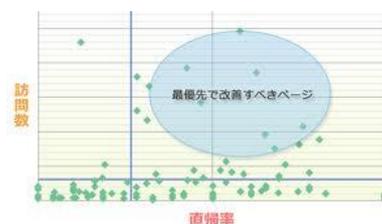
ホームページに到達した人が他のページを見ることなくそのまま他へ移動してしまう人が多かった場合、しっかりと見せる、誘導するように構成することで改善することができます。

他のページのアクセスも増えることでサイト全体のページビュー（PV）も当然増加します。

また、一人あたりのページビューが増えるということは、それだけ多くの情報を与えることができる、ファン化してもらえ確率が高まることを意味します。

その結果、もっとも効果が現れることが期待できるのが、「**コンバージョン（アクセスから注文・問合せなどに転換する割合）率のアップ**」です。

アクセス数を増やすためには継続的な投資が必要になることが多いですが、リニューアルによってコンバージョン率が改善できれば、同じアクセス数のままより多くの成果を手に入れることができる訳です。



## 成功するリニューアルのポイント

### ■リニューアル成功のための7つのポイント

ではリニューアルを成功につなげるためのポイントについて実際に例を挙げて説明してゆきましょう。

#### 1) リニューアルの対象を決める

まずは、リニューアルの対象をサイト全体にするのか、一番改善したいいくつかのページ・メニューに絞り込むかを方針を決めましょう。

サイト全体を対象にする場合は、先に全体の構成を整理する必要があるの  
で、個別のページのリニューアルとは進め方も変わってきます。

そのタイミングで決めきれないのであれば、まずはいくつかのページで試  
してみるということも良い方法です。

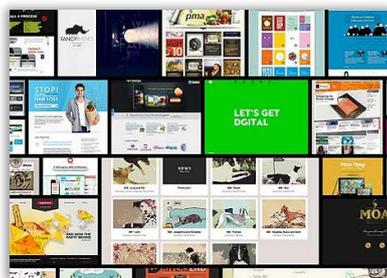


#### 2) 何を変えるのかは利用者に聞く

「利用者に聞く」と書きましたが、ヒアリングをするということの意味  
している訳ではありません。

アクセス解析を使って利用者の残した痕跡を確かめるのです。

#### 3) デザインの方向性は参考情報から



ここは時間のかかるところです。制作会社任せと良いかも知りませ  
せん。

見たこともないものからイメージを膨らませる・具体的なイメージに落と  
せるのはデザイナーの能力を持った人たちなので、同じことをする必要は  
ありません。自分が良いと思った、気になると思った、そんな参考にした  
いサイトを例としてピックアップしておくとも良いのです。

#### 4) 構成はしっかりと

リニューアルの一番のコアは変更後の構成です。

サイト全体であればサイトの構成全体を見直します。

ページの一部であっても、ページの構成を考えた上でどのような意図  
でどこを変更するのかをしっかりと決めてゆきます。

この作業は言い方をかえれば「シナリオ」作りなのです。

この部分はアクセス解析の情報をしっかり分析し、思い込みや勘違い  
にならないように注意しましょう。

余裕があれば、いったん仮の構成でテストを行い、検証した上で構成  
をフィックスさせるという取り組みをすると良いでしょう。



**株式会社ピーシー・ブレイン**

〒270-2253  
千葉県松戸市日暮 1-2-6  
勝どきビル3F

**電話番号**  
047-311-6677

**Fax**  
047-311-6678

**E-mail**  
info@pcbrain.co.jp

受付時間：  
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った  
商売に詳しいコンサルティ  
ング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リフォーム
- WEB システム開発

当社 Web サイト：  
<http://www.pcbrain.co.jp>  
<http://www.webquick.jp>



**5) PC or NOT**

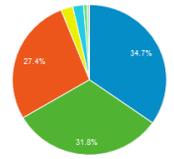
ここ1, 2年で大きく変わってきたのが、ホームページを見る人の環境です。従来はPCで見ることを想定しておけば良かったのですが、いまでは半数近くがスマートフォンで閲覧しています。PCで見ているのは実は自分たちだけ

だった・・・ということになっているかも知れません。これもアクセス解析で分かります。

また、最近ではPCの代わりにタブレットを利用する人の割合も増えてきています。タブレットの画面のサイズはPCとさほど変わりませんが、「指で操作する」ということには実は大きな違いがあります。

マウスで操作するように、あなたの指でホームページをうまくたどることができるでしょうか？PCと似て非なるものがタブレットなのです。

	1,579,424	全体に対する割合: 100.00% (1,579,424)
1. mobile	548,363	34.72%
2. mobile	502,844	31.84%
3. desktop	433,198	27.43%
4. tablet	39,747	2.52%
5. desktop	35,480	2.25%
6. tablet	11,903	0.75%
7. mobile	1,997	0.13%
8. desktop	1,738	0.11%
9. desktop	1,094	0.07%
10. mobile	929	0.06%



**6) 出口=フォームの見直しも忘れずに**

以外と後回しにされがちなのが、「問合せ」「申し込み」「予約」「注文」といったフォームの見直しです。

せっかくフォームまでたどり着いてくれた見込み客が最後の出口のところで脱落してしまうというのは実にもったいない話です。

必須ではない入力項目は用意しない、スマートフォンなどの端末でも入力しやすいようにする、など工夫する箇所はいろいろあります。

**7) できればソーシャルメディアを活用する**

せっくなのでリニューアルの際に、ソーシャルメディアとの連携のことも考えておくと、なお良いでしょう。特に個人向けの商材・サービスだったり、「人」が売りのビジネスの場合には、威力を発揮します。

ちょっとした手間、費用をかけて広告すると変わらないアクセス数を稼げるだけでなく、そこを起点に信頼関係を深めることもできるツールです。



以上、リニューアルに関する7つのポイントを紹介してきました。自分たちでできること、制作会社と相談、依頼しながら進めることなどいろいろありますが、結果の出るリニューアルとしての参考にいただければと思います。

ニュースレターの感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい！  
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール：info@pcbrain.co.jp

**株式会社ピーシー・ブレイン**

発行責任者：高山卓巳

〒270-2253  
千葉県松戸市日暮 1-2-6  
勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp